

# 余丁校通信



6月の生活目標

友達と仲良くしよう。

## 成長の衣替え

校長 佐藤 郁子

5月10日月曜日の全校朝会で、「衣替え」の話をしました。ちょうど併設幼稚園の園帽が夏物に変わる時期でした。



余丁町幼稚園の園帽  
左：夏帽子  
右：冬帽子

昔は日本の多くの地域で、6月1日と10月1日に学校や企業の制服の衣替えが行われていました。しかし、昨今の気候変動に伴い、2週間から1か月の移行期間の幅が設けられるようになっています。

衣替えの習慣は、平安時代の宮中行事から始まったと伝えられています。旧暦の4月1日及び10月1日に夏服と冬服を着替えると定めたそうです。そして、鎌倉時代になると、衣服類だけではなく、調度品まで取り換えるようになったそうです。

四季がはっきりしていた日本では、身の回りの物を自然に合わせてあつらえ、生活を楽しんでいた様子がうかがえます。

さて、1学期が始まり、2カ月が過ぎました。本年度は、ほぼ毎月学校公開があるので、保護者の方には、よりお子さんや学級の変容を感じていただきやすくなるのでは、と思っています。新しい学級・学年でのワクワク・フワフワ感はいよいよ落ち着き、子どもたちは通常運転に入ります。先生方や友達の関係も大体分かり、地道に日々の授業や学校生活を積み上げていく時期です。その中で、それぞれの学年に応じた「らしさ」を身に付けていきます。そして、夏休み明けの2学期。学校行事の多い時期になります。ここで、学級・学年の集団性がより高まります。共にハードルを乗り越え、一層成長した姿を見せます。

こうして見ると、ちょうど衣替えの同じ頃に、子どもたちの成長も変わっていているようです。

1年間の成長は、アツという間です。地域・保護者の皆様には、子どもたちの成長を季節と共に、楽しんで応援していただけたらと思います。

## 水泳指導について

体育的行事委員会担当

6月2日（火）から7月17日（金）の期間、水泳指導を行います。

低学年は、水の中でジャンプをしたり、もぐったりするなどの水遊びを通して水に慣れていきます。中学年は、もぐる・浮くなどの活動を通して初歩的な泳ぎを学びます。高学年では、手と足の動きに呼吸を合わせながら、25～50m泳ぐことにチャレンジしたり、水難事故防止の着衣泳に取り組んだりします。

子どもたちが自分で目標を立てて取り組みます。一人一人に合った指導を展開し、安全に気を付けて水に親しむことができるよう、教員一同努めてまいります。

お子さまの体調確認や、水泳用具の準備など、ご家庭でもご協力いただくことがあります。水着についてもより詳しくお知らせに記載しました。ご協力よろしくお願いたします。

## 開校記念集会について

特別活動部担当

本校は、今年度開校から数えて125周年という記念すべき節目を迎えました。この喜びを全校児童で分かち合うとともに、余丁町小学校への愛着と誇りを育むため、6月26日（金）に「開校125周年記念集会」を開催いたします。

今回の集会は代表委員会の児童が中心となり、全校児童が参加できる内容を企画しました。お祝いの歌や、余丁町小学校の歴史を振り返るスライド上映、学校に関するクイズなどを通して、地域の皆様に支えられてきた125年の歩みを感じることができる時間にしたと考えております。

